



「自分に合った学び方で」

郡山萌世高等学校長 矢森 健一



本校は、高校で学びたいと思っていながらも何らかの事情で朝や午前中は登校できない、または、仕事等のために休日の方が通学しやすい人のための学校です。午前10時すぎに登校する定時制課程・昼間主コース、午後3時に登校する定時制課程・夜間主コース、日頃は自学自習し、主に日曜日に通学する通信制課程、さらには社会人のための科目履修制度があり、学ぼうとする人の生活状況や学習経歴に合わせていろいろな学び方ができます。また、福島県の交通網の中心である郡山駅に隣接しており、広範囲からの通学が可能です。

本校では多様な生徒一人ひとりの個性を尊重しており、学ぶ意欲のある人が進路実現や興味・関心に合わせて学ぶことができます。制服はありません。だからこそ、生徒の自主性、自律心、良識に期待し、その伸長を図りながら、それぞれの希望する進路を達成できるよう支援していきます。

今年、本校は創立20周年という節目の時を迎えることになりました。次のステージに向け、生徒一人ひとりを真に大切にす教育のより一層の充実を掲げ、教職員一丸となり学校づくりに取り組みます。

校名の由来「福島県立郡山萌世高等学校」

「萌」は草木が芽を出すことを意味し、物事の起こりや、起こる兆しを表す言葉。萌世は生まれ変わる（萌生）からの連想による造語で、本校が21世紀初年の開校であり、新世紀にともに芽生え、大きな成長と発展が遂げられる、との願いが込められている。

校章の由来

● 緑色の円錐

大空に向かって清々しく伸びていく「萌芽」を表す。緑色をスクールカラーとし、精神の成長と、心身の安らぎを育む場としての学校を象徴している。



● 茶色の楕円の輪

「萌芽」をイメージする円錐を三重に包み込みリズムミカルな楕円の輪は、悠久な時の流れを示し、その中で力強く生きる生徒を育む学校であることを表現している。また、三重の輪は『あさか開成高校』、『あさか開成高校須賀川校舎』、『郡山北工業高校』という三つの大地から『郡山萌世高校』の萌芽が生まれ出た意味も表している。

目指す生徒像

「自主性と自律心に富み創造性豊かな人間」

自主・自律・創造

教育の基本姿勢

「生徒一人ひとりを真に大切にする教育」

生徒が学校生活の主役であり主人公である

館内図

■ 普通教室
■ エレベータ

